

令和6年度全国国民健康保険診療施設協議会事業報告

全国国民健康保険診療施設協議会（略称「国診協」）は、国民健康保険法に基づいて設置される国民健康保険診療施設（国保直診）の管理者たる医師・歯科医師を会員とし、国保直診の多くが立地している離島・へき地・中山間地域における保健・医療・介護・福祉の連携統合を図り、超高齢社会に対応する地域包括医療・ケアの充実強化と地域包括ケアシステムの構築を目的として、全国国保地域医療学会を開催するほか、種々の事業を積極的に実施しているところである。

高齢化が進む日本では、持続可能な社会保障制度の確立を図ることを目的とした社会保障・税一体改革の推進のため、平成25年12月に「持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律（いわゆるプログラム法）」を成立させ、平成26年6月には「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律（医療介護総合確保推進法）」が公布された。その概要は1. 新たな基金の創設と医療・介護の連携強化、2. 地域における効率的かつ効果的な医療提供体制の確保、3. 地域包括ケアシステムの構築と費用負担の公平化などである。この法律改正で「地域包括ケアシステム」が規定されたことにより、超高齢社会が進む日本ではこのシステムが必要不可欠であるということが示された。

国保直診では昭和40年代後半から先進的に地域包括医療・ケアの推進に取り組み、在宅医療を含む地域医療を支えてきた。国診協が昭和59年に「地域包括医療・ケア」の理念を明文化し、全国的に展開してきたことが最も先進的であることの証であり、国保直診の誇りであるとともに国診協運営の絶対的基盤であるといっても過言ではない。今年度も地域包括医療・ケア推進のフロントランナーとして全国各地域で活動するとともに、少子高齢化と人口減少が進む中で国保直診の役割と機能を確立し、医師・メディカルスタッフの確保等その基盤強化を図り、将来に向けて持続可能な地域包括医療・ケアシステムを構築し実践するための「国保直診のありたい姿」を検討・策定し令和6年3月に会員施設等に公表した。

平成31年4月には厚生労働省社会保障審議会で「2040年を展望した医療提供体制の改革について」が提示された。その中で「地域医療構想の実現」「医師・医療従事者の働き方改革」「実効性のある医師偏在対策」を三位一体で推進することが示されている。その後、地域医療構想の実現に関しては令和元年9月に厚生労働省が、公立・公的医療機関等の具体的対応の「再検証」を要請する病院名を公表（本会会員施設の半数が対象とされた）するなどの進め方に対して直ちに意見を提出した。コロナ禍で中止されていた各地域での協議も今年度は再開され、外来機能（かかりつけ医機能も含め）についても議論される予定であり、会員施設がそれぞれの立ち位置を明確にし、適切に対応することを期待する。また、国では地域間の医師偏在の解消を図るため「医療法及び医師法の一部を改正する法律」（平成30年7月25日公布）を制定した。多くの国保直診が所在する地域では医師不足が続いている現状にある。そのような地域では「総合診療医」の必要性が増しているものと考えられる。国診協では地域医療を守る病院協議会とともに「日本地域医療学会」運営に参画し「地域総合診療専門医」育成を通じて医師偏在解消の一翼を担っていききたい。

平成30年度から国民健康保険制度改革が行われ、都道府県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の確保等の国保運営に中心的な役割を担い、制度の安定化を図るなどの措置が講じられた。これまで国保直診が自治体とともに地域住民の予防・健康づくり事業を展開してきたが、それらの事業は新たに創設された保険者支援事業として新しい国保制度に受け継がれ、国保直診の益々の活躍が期待されている。さらにはオンライン資格確認導

入やマイナ保険証利用促進、国保データベース（KDB）の有効活用においても国保直診としての取り組みを推進したい。

令和6年4月には「医師の働き方改革」「第8次医療計画」がスタートし「診療報酬・介護報酬・障害者総合支援法報酬のトリプル改定」も行われた。さらには「医療DXの推進」も加速していると思われる。国診協では令和5年に会員施設の調査結果を基に「令和6年度診療報酬改定に向けての要望書」を厚生労働省に提出するとともに、「医師の働き方改革の現状報告」「医療DXの現状と課題分析」の二つの報告書をまとめ公表した。令和6年度においては会員施設に対し国の動向に関する情報提供に努めるとともに、「令和8年度診療報酬改定に向けての要望」に向けた要望事項の分析や「医師偏在の是正に向けた対策パッケージ」に対する意見等について会員施設等を対象に調査を行った。その結果に基づき離島・へき地・中山間地域等医療資源不足に悩む国保直診に対する支援等について、令和7年度も引き続き国に対して要望していくこととする。

令和6年1月1日に能登半島地震が発生し石川県の多くの会員施設が大きな被害を受けた。今後全国各地域で災害が発生することが考えられることから、国診協としての災害発生時の支援の在り方、国保直診における事業継続計画（BCP）策定等について、令和7年度も引き続き検討を行っていくこととする。

一昨年新型コロナウイルス感染症が感染法上「2類相当」から「5類」へ移行したがこの感染症が終息したわけではなく、令和6年度は引き続き感染対策に留意しながら主要事業を実施した。国診協運営に関して令和6年度は物価上昇等の影響をはじめ厳しい状況にあった。令和7年度もこの傾向は続くものと思われるが、一層の効率的な事業運営並びに経費の見直し等を実施し、引き続き財政基盤の安定と公益社団法人としてのガバナンス強化に向けて取り組んでいくこととする。

令和6年度においては、国、国民健康保険中央会、都道府県国民健康保険団体連合会、平成29年9月に設立した地域医療を守る病院協議会構成団体（いわゆる6病協）、及び令和3年10月に設立した日本地域医療学会、並びにその他関係団体と一層緊密な連携を図りながら、次の事業を実施した。

令和6年度事業実施結果は以下のとおりである。

1 組織（令和7年3月31日現在）

- (1) 会員 789名
- (2) 役員
 - 会 長 1名（定員1名）
 - 副 会 長 3名（定員3名以内）
 - 常務理事 8名（定員8名以内）
 - 理 事 37名（定員20名以上40名以内 会長、副会長、常務理事を含む）
 - 監 事 2名（定員2名以内）

2 総会等の開催状況

- (1) 社員総会1回
 - ① 社員総会
 - 1) 期日 令和6年6月14日（金）

- 2) 会場 富士ソフトアキバホールセミナールーム（東京都千代田区神田練塀町3）
及びオンライン（拠点：富士ソフトアキバホールセミナールーム）併用開催
 - 3) 主要議題（報告事項）
 - 令和5年度事業報告について（決議事項）
 - 令和5年度収支決算について
 - 理事及び監事の選任について
- (2) 理事会 開催回数4回
- ① 理事会（事業報告、決算等）
 - 1) 期日 令和6年5月17日（金）
 - 2) 会場 富士ソフトアキバホールセミナールーム（東京都千代田区神田練塀町3）
及びオンライン（拠点：富士ソフトアキバホールセミナールーム）併用開催
 - 3) 主要議題（報告事項）
 - 役員の職務執行状況について
 - 令和5年度収支予算補正について（決議事項）
 - 令和5年度事業報告について
 - 令和5年度収支決算について
 - 公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会 理事及び監事の選任に関する規程の一部変更について
 - 参与の委嘱について
 - 地域包括ケアシステム推進功績者及び国診協事業推進者表彰の各表彰者について
 - 全国国保地域医療学会優秀研究表彰の表彰者について
 - 公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会 職員給与規程を一部変更して運用することを定める件[伺い定め]の廃止について
 - 定時社員総会の招集について
 - ② 理事会（臨時）
 - 1) 期日 令和6年6月14日（金）
 - 2) 会場 富士ソフトアキバホールセミナールーム（東京都千代田区神田練塀町3）
及びオンライン（拠点：富士ソフトアキバホールセミナールーム）併用開催
 - 3) 主要議題（決議事項）
 - 会長の選定について
 - 副会長・常務理事の選定について
 - ③ 理事会（臨時）
 - 1) 期日 令和6年9月13日（金）
 - 2) 会場 オンライン（拠点：公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会事務局会議室：東京都港区芝大門2-6-6）開催
 - 3) 主要議題（決議事項）
 - 全国国保地域医療学会優秀研究表彰審査委員会の委員の選定について
 - 全国国保地域医療学会の座長指名について
 - 参与の委嘱について

(報告事項)

地域包括医療・ケア事業推進資金の運用変更について

④ 理事会 (事業計画、予算等)

- 1) 期日 令和7年2月21日 (金)
- 2) 会場 オンライン開催
- 3) 主要議題 (報告事項)

任期途中での理事の辞任について

役員職務執行状況報告について

第64回全国国保地域医療学会「岩手県開催」について

(決議事項)

令和7年度事業計画について

令和7年度収支予算について

会長専決事項委任及び一時借入金について

役員等に対する費用弁償規程の一部改正について

職員給与規程の一部変更について

(3) 国診協開設者委員会・都道府県国民健康保険施設開設者協議会会長等合同会議

- ① 期日 令和6年10月4日 (金)
- ② 会場 アイーナ第1会場「小田島組☆ホ〜ル」(岩手県盛岡市)
- ③ 主要議事 「障害を住み慣れた地域で過ごすために～自治体と国保直診で構築する地域包括ケア体制～」について

(4) 国診協都道府県協議会会長・協議会設置国保連合会事務局長合同会議

- ① 期日 令和7年2月21日 (金)
- ② 会場 富士ソフトアキバプラザセミナールーム1、オンライン併用開催
- ③-1 国診協情勢報告
- ③-2 都道府県協議会活動報告 (千葉県・香川県)
- ③-3 講演 「国民健康保険制度と地域包括ケアシステム」
厚生労働省保険局国民健康保険課 課長 唐木 啓介 氏

(5) 正副会長打合せ会

- ① 開催回数 7回 [外部会議室5回*ハイブリッド[®]開催、オンライン会議2回]
(令和6年5/17、6/14、6/28、9/10、10/3、令和7年1/17、2/21)
- ② 主要議事 国の動向等への対応及び組織・事業に関する重要事項等について

(6) 執行役員会

- ① 開催回数 6回 [外部会議室4回*ハイブリッド[®]開催、オンライン会議2回]
(令和6年5/17、6/14、6/28、9/10、10/3、令和7年2/21)
- ② 主要議事 国の動向等への対応及び事業運営等について

(7) 監事会

- ① 期日 令和6年5月8日 (水) [オンライン会議]
- ② 主要議事 令和5年度事業報告及び決算について

3 国診協各委員会・打合せ会等開催状況

開設者委員会 1回 [岩手県民情報交流センター]
(令和6年10/4)

総務企画委員会 3回 [オンライン会議]
(令和6年4/10、8/22、12/5)

調査研究委員会 3回 [オンライン会議]
(令和6年7/26、11/21、令和7年3/18)

広報情報委員会 4回 [オンライン会議]
(令和6年7/25、8/28、11/28、令和7年3/17)

地域医療・学術委員会 3回 [オンライン会議]
(令和6年7/25、9/10、令和7年1/24)

地域食支援部会 3回 [オンライン会議]
(令和6年7/29、10/4、令和7年2/20、3/24)

在宅医療・ケア部会 1回 [オンライン会議]
(令和6年7/30)

看護・介護部会 1回 [オンライン会議]
(令和6年7/31)

リハビリテーション部会 3回 [オンライン会議]
(令和6年7/30、9/2、12/13)

歯科保健委員会 4回 [オンライン会議]
(令和6年4/2、5/9、7/31、11/6)

診療所委員会 1回 [オンライン会議]
(令和6年7/19)

施設経営委員会 11回 [オンライン会議]
(令和6年4/16、5/21、6/18、7/13、9/17、10/22、11/19、12/17、
令和7年1/21、2/18、3/17)

調査調整プロジェクトチーム 2回 [オンライン会議] (令和6年10/10、11/13)
(国診協の各委員会・部会が行う調査関係について、会員施設の負担とならない
よう調整を行うことを目的に、各委員会・部会から選抜された委員で構成)

ありたい姿プロジェクトキックオフミーティング 1回 [オンライン会議] (令和6年
12/12)

ありたい姿プロジェクトコアチーム会議 2回 [オンライン会議] (令和6年12/12、
令和7年3/4)
(国診協の10年後のありたい姿を検討し、会員向けに提案することを目的に、
各委員会・部会等から選抜されたメンバーのコアとなるメンバーで構成)

優秀研究表彰審査委員会 2回 [オンライン会議] (令和7年1/30、3/6)

資産運営委員会 1回 [メール書面会議] (令和6年6/25)

調査研究事業倫理委員会 (倫理審査の対象事業なし)

老人保健福祉調査研究会 (受託事業親委員会・・・当年度は特に諮る案件なし)

■他団体と連携した事業、委員会、打合せ会等

地域包括医療・ケア認定制度審査委員会 2回 [オンライン会議]
(令和6年9/2、令和7年2/25)

地域包括医療・ケア認定制度運営委員会 2回 [オンライン会議]
(令和6年9/26、令和7年3/12)

国診協・全自病協との打合せ会（定例） 2回 [オンライン会議]

（令和6年9/26、令和7年3/12）

医師臨床研修指導医講習会ディレクター会議 1回 [オンライン会議]

（令和7年1/9）

国診協・自治医科大学との懇談会（定例） 1回 [事務局会議室]

（令和7年3/14）

地域医療を守る病院協議会 [6団体] 0回

*地方に多くの病院を有する5団体により平成29年9月28日に設立。その後6団体になり協議会の議長と事務局は持回り。

4 学会・研修会等の開催結果

(1) 第64回全国国保地域医療学会 [岩手県]

○期 日 令和6年10月4日（金）・5日（土）

○学会会場 アイーナ第1会場「小田島組☆ホ〜ル」（盛岡市）

○参加者数 1,086名

① プログラム及び演者一覧

学会1日 令和6年10月4日（金）

【特別講演1】 11:00~12:00 「第1会場（小田島組☆ほ〜る）」

演 題	国保地域医療学会の礎 ～岩手県地域医療研究会の歩み	
講 師	佐藤 元美	岩手県：一関市病院事業管理者 前岩手県地域医療研究会長
特別発言者	小野 剛	全国国民健康保険診療施設協議会会長 秋田県：市立大森病院長
司会者	磯崎 一太	第64回全国国保地域医療学会会長 岩手県地域医療研究会会長 岩手県：洋野町国民健康保険種市病院長

【特別講演2】 13:00~14:00 「第1会場（小田島組☆ほ〜る）」

演 題	ブラックホールの謎に迫る	
講 師	本間 希樹	国立天文台 水沢 VLBI 観測所長
司会者	高橋 通訓	第64回全国国保地域医療学会副学会長 岩手県地域医療研究会副会長 岩手県：金ヶ崎町国民健康保険金ヶ崎歯科診療所歯科長

【専門分科会1】 11:00~12:30 「第3会場（会議室803）」

テーマ	コロナ禍、自然災害の経験から学ぶ、これからの地域包括ケアの在り方	
発表者	齊藤 稔哲	宮城県：気仙沼市立病院附属本吉医院長
	長谷 剛志	石川県：公立能登総合病院歯科口腔外科部長
司会者	東條 環樹	国診協 地域医療・学術委員会委員/在宅医療・ケア部会長 広島県：北広島町雄鹿原診療所長

【教育セミナー1】 13:10~14:00 「第3会場（会議室803）」

演 題	最後まで自分らしく「生きる」
-----	----------------

講師	太田 宣承	碧祥寺住職 社会福祉法人光寿会理事長 特別養護老人ホーム光寿苑総合施設長
司会者	小原 眞	岩手県：町立西和賀さわうち病院長

【教育セミナー2】 14：10～15：00 「第3会場（会議室803）」

演題	オンライン資格確認はデータヘルスの基盤、医療DXの根幹 ～マイナンバーカードとマイナ保険証～	
講師	植松 賢	国民健康保険中央会 保健福祉部医療保険情報提供等実施機関担当室長
司会者	池田 俊明	国民健康保険中央会常務理事

【教育セミナー3】 14：10～15：00 「第1会場（小田島組☆ほ～る）」

演題	総合診療医の役割と期待	
講師	下沖 収	岩手医科大学総合診療医学講座教授 岩手医科大学附属内丸メディカルセンター長
司会者	伊藤 正博	第64回全国国保地域医療学会副会長 岩手県地域医療研究会副会長 岩手県：奥州市国民健康保険まごころ病院長

【国保直診開設者サミット】 15：10～17：00 「第1会場（小田島組☆ほ～る）」

演題	生涯を住み慣れた地域で過ごすために ～自治体と国保直診で構築する地域包括ケア体制～	
発言者	鈴木 重男	岩手県：葛巻町長 岩手県国民健康保険団体連合会副理事長 岩手県国保診療施設運営連絡協議会幹事長
	内記 和彦	岩手県：西和賀町長
	小澤 幸弘	神奈川県：三浦市立病院総病院長
	宇佐美 哲郎	大阪府：能勢町国民健康保険診療所長
特別発言者	原 勝則	国民健康保険中央会理事長
助言者	唐木 啓介	厚生労働省保険局国民健康保険課長
司会者	岩田 利雄	全国国民健康保険診療施設協議会開設者委員会委員長 千葉県：東庄町長
	中村 伸一	全国国民健康保険診療施設協議会副会長 福井県：おおい町国民健康保険名田庄診療所長

学会2日 令和6年10月5日（土）

【専門分科会2】 9：00～10：30 「第3会場（会議室803）」

テーマ	在宅医療を地域で展開するために必要な課題と実践	
発表者	上田 由美子	広島県：訪問看護ステーション「みつぎ」主任看護師
	齋藤 洋平	富山県：南砺市地域包括支援センター健康課健康増進係主査
司会者	村上 英之	国診協 地域医療・学術委員会委員長 北海道：足寄町国民健康保険病院長

【専門分科会3】9：00～10：30 「第4会場（会議室804A）」

テーマ	健康寿命延伸のための地域活動 ～“くち”から知ろう！！地域を～	
発表者	南 温	岐阜県：県北西部地域医療センター国保和良歯科診療所長
発表者	日浅 恭	広島県：公立みつぎ総合病院歯科部長
発表者	石塚 育子	青森県：一部事務組合下北医療センター国保佐井歯科診療所歯科衛生士
助言者	奥山 秀樹	国診協 歯科保健委員会アドバイザー 長野県：佐久市立国保浅間総合病院歯科口腔外科嘱託医師
司会者	占部 秀徳	国診協 歯科保健委員会委員長 広島県：公立みつぎ総合病院診療部長

【専門分科会4】9：00～10：00 「第9会場（会議室501AB）」

テーマ	それでも地域医療を続けるために～若手医師のリアル～	
発表者	堀 翔大	岐阜県：県北西部地域医療センター国保和良診療所長
発表者	堂坂 瑛子	北海道：更別村国民健康保険診療所副所長
発表者	安齋 遥	青森県：国民健康保険大間病院長
司会者	河合 皓太	国診協 若手の会世話人会世話人 富山県：かみいち総合病院内科 富山大学 上市・地域医療支援学講座客員教授
司会者	今江 章宏	国診協 若手の会世話人会世話人 北海道：寿都町立寿都診療所長

【専門分科会5】10：00～10：30 「第9会場（会議室501AB）」

テーマ	施設経営委員会活動報告 全国国民健康保険診療施設の医療DXの現状と課題分析	
発表者	藤森 勝也	国診協 施設経営委員会委員長 新潟県：あがの市民病院長

【教育セミナー4】10：40～11：30 「第3会場（会議室803）」

演 題	地域志向のプライマリケア —社会的処方と文化的処方—	
講 師	孫 大輔	鳥取大学医学部地域医療学講座准教授
司会者	海保 隆	全国国民健康保険診療施設協議会副会長 千葉県：国保直営総合病院君津中央病院名誉院長

【シンポジウム】9：00～11：00 「第1会場（小田島組☆ほ～る）」

演 題	高齢・人口減社会における過疎地での地域包括ケア体制のあり方 ～国保直診に求められる役割とデジタル化の推進～	
発言者	望月 泉	全国自治体病院協議会会長 岩手県：八幡平市病院事業管理者 八幡平市立病院統括院長 八幡平市立田山診療所長
	須田 万勢	長野県：諏訪中央病院リウマチ・膠原病内科医長
	多田 明良	和歌山県：紀美野町立国保国吉・長谷毛原診療所長
特別発言者	松田 晋哉	産業医科大学医学部公衆衛生学教授

助言者	松本 晴樹	厚生労働省医政局地域医療計画課医療安全推進・医務指導室長
司会者	大原 昌樹	全国国民健康保険診療施設協議会副会長 香川県：綾川町国民健康保険陶病院長
	磯崎 一太	第64回全国国保地域医療学会長 岩手県地域医療研究会長 岩手県：洋野町国民健康保険種市病院長

【会員宿題報告】 11:05～11:35 「第1会場（小田島組☆ほ～る）」

演題	人口減少地域の生活を守るために ～すさみ町の取り組み～	
報告者	高垣 有作	第65回全国国保地域医療学会長 和歌山県：国民健康保険すさみ病院顧問

② その他

i 地域医療交流会 「ホテルメトロポリタン盛岡 ニューウイング」

令和6年10月4日（金）18:00～20:00

ii 国診協コーナーの設置 7階701会議室

「国診協コーナー」、「若手の会カフェ（医科）」、「若手の会カフェ（歯科）」、「リハビリテーション部会」

(2) 第38回地域医療現地研究会〔北海道〕

○期日 令和6年6月21日（金）・22日（土）〔開催方法：参集〕

○会場 足寄町国民健康保険病院、高齢者等複合施設「むすびれっじ」、ホテル日航ノースランド帯広

○参加者数 163名

第38回地域医療現地研究会日程

第1日目 令和6年6月21日（金）

時間	内容
8:30	● 受付 ホテル日航ノースランド帯広 2階「ノースランドホール」
9:00	● 開講式 ホテル日航ノースランド帯広 2階「ノースランドホール」
9:30	● 施設概要説明 足寄町国民健康保険病院 高齢者等複合施設「むすびれっじ」
9:45	● 施設視察研修 1号車から6号車（班編成でバス移動） 昼食：ネイパル足寄 視察先：足寄町国民健康保険病院 高齢者等複合施設「むすびれっじ」
17:30	● 施設視察研修終了（バス移動）
18:30 20:30	● 地域医療交流会 ホテル日航ノースランド帯広 2階「ノースランドホール」

第2日目 令和6年6月22日（土）

時間	内容
9:00	● 全体討議 ホテル日航ノースランド帯広 2階「ノースランドホール」 ● テーマ「大空と大地の中で育もう地域包括医療・ケアの未来 ～住み慣れた地域で完結する地域医療を目指して～」

	<p>【座長】 全国健康保険診療施設協議会 地域医療・学術委員会 委員長 村上 英之 (足寄町国民健康保険病院長) (北海道国民健康保険診療施設連絡協議会会長)</p> <p>【発表者】 公立芽室病院 院長 研谷 智 氏 更別村国民健康保険診療所 所長 山田 康介 氏 足寄町国民健康保険病院 理学療法士 東浦 浩昭 氏</p> <p>【助言者】 国民健康保険中央会理事長 原 勝則 全国国民健康保険診療施設協議副会長 大原昌樹</p>
11:00	● 閉講式
11:15	● 開催

(3) 地域包括医療・ケア研修会

○期日 令和7年1月17日(金)・18日(土) [ハイブリッド開催]

○会場 富士ソフト アキバプラザ

○参加者数 134名(会場77名、WEB57名)

◎メインテーマ 「人材確保と医療の効率化で持続可能な地域包括医療・ケアを構築する」
～地域医療を守り抜くための人材育成とDXの活用～

日 程 表

時 間	【第1日】 — 1月17日(金) —
13:30～ 13:40 (10min)	○開講式 主催者挨拶 小野 剛 (公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会会長) 松岡正樹 (公益社団法人国民健康保険中央会事務局長)
13:40～ 13:45	*舞台転換
13:45～ 14:55 (70min)	○講演〔Ⅰ〕 演題：「国民健康保険制度と地域包括ケアシステム」 講師：唐木啓介 (厚生労働省保険局国民健康保険課長) 司会：海保 隆 (国診協副会長／千葉県：国保直営総合病院君津中央病院 名誉院長)
14:55～ 15:00	*休憩
15:00～ 15:20 (20min)	○講演〔Ⅱ〕 演題：「国診協の情勢と国の動向 ポスト2025年の地域包括医療・ケア」 講師：小野 剛 (国診協会会長／秋田県：市立大森病院長)
15:20～ 15:25	*休憩
15:25～ 16:35 (70min)	○講演〔Ⅲ〕 演題：「iPhone でできる病院DX」 講師：篠原直樹 (社会医療法人石川記念会 HITO病院 DX推進室) 司会：大原昌樹 (国診協副会長／香川県：綾川町国民健康保険陶病院長)

16:35～ 16:40	*休憩 *舞台転換
16:40～ 18:20 (100min)	○ <u>パネルディスカッション〔I〕</u> 演題：「地域医療を守り抜くためのDXの活用」 発表者：伊藤伸一（一般社団法人秋田県医師会副会長／伊藤医院院長） 発表者：廣瀬英生（岐阜県：県北西部地域医療センター国保白鳥病院長） 発表者：藤井将志（特定医療法人谷田会 谷田病院事務部長） ディスカッション 講評：海保 隆（国診協副会長／千葉県：国保直営総合病院君津中央病院 名誉院長） 司会：清水幸裕（地域医療・学術委員会副委員長／富山県：南砺市民病院 長）
18:20-18:30	*休憩・移動 *オンライン参加の方は、ここで1日目終了となります。
18:30～ 20:00	○ <u>地域医療交流会</u> 話題：「これからの地域医療を明るくするために明日からできることを語ろう」 司 会：萩野正樹（地域医療・学術委員会委員／福井県：南越前町国民健康保険今庄診療所長） 田辺大起（地域医療・学術委員会委員／鳥取県：日南町国民健康保険日南病院リハビリテーション科長）

時 間	【第2日】 — 1月18日（土） —
9:00～10:40 (100min)	○ <u>パネルディスカッション〔II〕</u> 演題：「地域医療を守り抜くための教育・人材育成」 発表者：北 清美（千葉県：国保直営総合病院君津中央病院看護局長） 発表者：大浦 誠（富山県：南砺市民病院内科副部長・総合診療科副部長） 発表者：助永親彦（島根県：隠岐広域連合立隠岐病院副診療部長・島の医療人育成センター長） ディスカッション 講評：大原昌樹（国診協副会長／香川県：綾川町国民健康保険陶病院長） 司会：村上英之（国診協地域医療・学術委員会委員長／北海道：足寄町国民健康保険病院長）
10:40～ 10:50	*休憩 *舞台転換
10:50～ 12:00 (70min)	○ <u>講演〔IV〕</u> 演題：「新たな地域医療構想と人口減少地域における医療DXの実際」 講師：望月 泉（全国自治体病院協議会会長／岩手県：八幡平市病院事業管理者兼八幡平市立病院統括院長） 司会：小野 剛（国診協会会長／秋田県：市立大森病院長）
12:00～ 12:30	○昼食
12:30～	○ <u>講演〔V〕</u>

13:40 (70min)	演題：「地域医療を守るための病院DXによる働き方改革」 講師：神野正隆（社会医療法人財団 董仙会 恵寿総合病院理事長補佐） 司会：清水幸裕（地域医療・学術委員会副委員長／富山県：南砺市民病院 長）
13:40～ 13:50	*休憩 *舞台転換
13:50～ 15:30 (100min)	○パネルディスカッション〔Ⅲ〕 演題：「診療所が面白い～オンリーワンの〇〇〇〇」 発表者：吉岡秀樹（青森県：深浦町国民健康保険深浦診療所長） 発表者：永川賢治（大阪府：豊能町国民健康保険診療所長） 発表者：森江祥平（島根県：隠岐の島町国民健康保険都万診療所医師） ディスカッション 講評：中村伸一（国診協副会長／福井県：おおい町国民健康保険名田庄診 療所長） 司会：和田智子（国診協診療所委員会委員長／秋田県：にかほ市国民健康 保険小出診療所長）
15:30～ 15:40	○閉講式 閉会挨拶 海保 隆（全国国民健康保険診療施設協議会副会長）

(4) 国保直診口腔保健研修会

○期日 令和6年10月3日(木)17:30～

○会場 岩手県・ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING 4階「メトロポリタンホール」

○参加者 51名

◎メインテーマ 災害時の多職種連携と歯科の役割～東日本大震災・能登半島地震を経験
して～

日 程 表

17:00	○受付 ※開場 17:00
17:30～ 17:35	○開会 挨拶 小野 剛 全国国民健康保険診療施設協議会会長
17:35～ 19:40	○講演1（60分：17:35～18:35）／うち質疑10分程度 命を支える歯科支援～東日本大震災から広がる多職種連携～ 講師 大黒英貴 氏 岩手県歯科医師会専務理事／日本歯科医師会災害時対策・警察歯 科総合検討会議副委員長／医療法人だいきく歯科医院長 ○講演2（60分：18:40～19:40）／うち質疑10分程度 備えよ！その瞬間は突然やって来た・・・ ～能登半島地震の被災者として 歯科医師として～ 講師 長谷剛志 氏 石川県・公立能登総合病院歯科口腔外科部長 司会 須田亜津美 宮城県・涌谷町健康課健康づくり班長
19:40～ 19:45	○閉会 挨拶 占部秀徳 国診協・歯科保健委員会委員長

○情報交換会	
20:00～ 21:30	○情報交換会 開会挨拶 占部 秀徳 国診協・歯科保健委員会委員長 乾杯（挨拶） 須田 亜津美 国診協・歯科保健委員会委員（企画担当） 閉会挨拶 澤田 弘一 国診協・歯科保健委員会副委員長

- (5) 海外保健・医療・介護・福祉視察研修
 （諸般の事情を考慮し、当分の間実施を見合わせる。）
- (6) リハビリ専門職の人材育成に係る研修会
 （国診協 地域医療・学術委員会リハビリテーション部会主催）
 期日 令和6年11月8日（金）13:00～11月9日（土）12:00
 会場 鳥取県日南町・国民健康保険日南病院
- (7) 多職種研修コーディネーター研修会（3回開催、中止1回）
- i 期日 令和6年8月31日（土）10:00～17:00
 場所 福岡県福岡市（台風の影響により開催困難となり中止）
 - ii 期日 令和6年9月7日（土）10:00～17:00
 場所 東京都千代田区・アーバンネット神田カンファレンス
 - iii 期日 令和6年11月2日（土）10:00～17:00
 場所 札幌市・TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前
 - iv 期日 令和6年12月7日（土）10:00～17:00
 場所 福岡市・八重洲博多ビル
- (8) 国保直診歯科関係者研修会
 （国診協 歯科保健委員会主催）
 期日 令和6年4月13日（土）13:00-17:00
 会場 オンライン開催
- 5 地域包括医療・ケア認定制度の認定（全自病協との共同事業。年2回新規・更新認定）
 令和6年度 認定施設 9施設（累計277施設）
 認定医師 58人（累計684人：医師664人、歯科医師20人）
 認定専門職 0人（累計353人）
- 6 医師臨床研修指導医講習会（全自病協との共同事業）
 令和6年度は、6回（オンライン3回、東京会場、大阪会場及び福岡会場 各1回）開催した。
- 7 調査研究事業等
- (1) 令和6年度老人保健健康増進等事業【厚生労働省】

事業実施件数 1 事業

事業名	中山間地域等における医療機関等と連携したリエイブルメントの取り組みについての調査研究事業
事業概要	<p>本事業では、医療・介護の地域資源の少ない四国厚生支局管内の中山間地域等でリエイブルメントの取り組みの促進を図ることを目的とする。</p> <p>事業内容としては、四国厚生支局管内の自治体及び医療機関等を対象に、リエイブルメントの取り組みの促進を図ることを目的にアンケート及び好事例地区へのヒアリングを実施し、事例集及び報告書を作成する。併せて普及推進を目的とした報告会を開催する。</p>
調査方法	<p>(1) アンケート調査</p> <p>実施方法：郵送による依頼、回答は電子媒体の調査票を活用 調査名：「中山間地域等における医療機関等と連携したリエイブルメントの取り組みについての調査」 対象地域：四国厚生支局管内</p> <p>① 市町村 対象：95 か所 回答率：30.5% ② 地域包括支援センター 対象：166 か所 回答率：33.1% ※※①または②のいずれかで回答された市町村数 (50.5%) ③ 医師会 対象：44 か所 回答率：61.0% ③ 医療機関 (国保直診) 対象：79 か所 回答率：39.7%</p> <p>調査内容：総合事業の取組状況 (介護予防ケアマネジメント、短期集中予防サービス、通いの場、生活支援体制整備事業、地域ケア会議)、対象者の選定方法、工夫、実施地域、職種の関わり方、外部業者の関与、リエイブルメントを特に意識した取り組みの有無と内容 (好事例の拾い出し) 等を確認し、基礎情報とする。</p> <p>(2) 事例調査 (ヒアリング)</p> <p>実施方法：現地訪問またはオンラインによる実施 対象地域：好事例地域で、「市町村・地域包括支援センター職員」と同地域の「医療機関・介護事業所」等 計8自治体 ※ヒアリングを通して、地域の実情に応じたリエイブルメントの取り組み体制や手法等を整理して事例集としてまとめる。</p> <p>①徳島県勝浦郡勝浦町 令和6年12月12日 ②徳島県三好郡東みよし町 令和6年12月11日 ③香川県観音寺市 令和6年12月25日 ④香川県三豊市 令和6年12月13日 ⑤愛媛県今治市 令和6年12月10日 ⑥高知県幡多郡大月町 令和6年12月18日 ⑦高知県須崎市 令和6年12月17日 ⑧高知県南国市 令和6年12月16日</p> <p>(3) 報告会の開催</p> <p>調査結果を取りまとめ報告会を開催し、研究成果の周知を図る。</p> <p>◎研修テーマ ○期日 令和7年2月14日 (金) 13:00-16:00 [ハイブリッド開催]</p>

	(来場者プログラム～16:40) ○会場：香川県県民ホール レグザムホール「多目的大会議室玉藻」 ○参加者数：134名(会場77名、WEB57名)
担当(厚労省)	厚生労働省四国厚生支局地域包括ケア推進課
委員会名	中山間地域等における医療機関等と連携したリエイブルメントの取り組みに関する検討委員会
委員長	川本 龍一(愛媛大学大学院医学系研究科地域医療学講座)
委員構成・ 会議開催数	委員数(委員会11名) 会議数(委員会5回、報告会開催、調整会議1回 計7回)
調査協力機関	みずほリサーチ&テクノロジーズ
成果物	報告書・事例集(パンフレット)
その他	※事例集の作成： アンケート及びヒアリングから得られたリエイブルメントに関する取り組み方法等を整理し、事例集としてまとめる。

(2) 令和6年度社会福祉振興助成事業 【独立行政法人福祉医療機構】

事業実施件数 0事業

(3) 令和6年度勇美記念財団助成事業 【勇美記念財団】

事業実施件数 1事業

「在宅医療推進のための調査研究等への助成」

本研究は、公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会(国診協)・調査研究委員会で企画のうえ、調査研究委員会委員の田辺大起氏を研究代表者として申請、実施し、共同研究者は国診協関係者の多職種で構成し、事務支援は国診協事務局が行った。

事業名	在宅療養者におけるペットに関する諸問題とその対応方法についての調査研究
事業概要	在宅療養者がペットを飼育することによって発生する課題を明らかにし、その対応方法について提示する。 (目的) 次の事項を実施し、研究報告としてまとめる ・在宅療養者がペットを飼育することによって発生する事象の実態を調査する。 ・ペットを飼育する高齢者が入院や施設入所する際のペットの処遇や、患者本人への精神的なケアについての方法を明らかにする。 ・特に小規模自治体における先進的な事例を抽出する。 ・地域高齢者向けのペットの飼い方に関するパンフレットを作成する。
研究方法	(1) 研究チームの設置 保健・医療・介護・福祉系多職種からなる研究チームを構成し、会議の開催、事業の進行管理等は国診協の協力・支援を得て実施し、多様な視点で検討できる体制を構築した。また必要に応じて有識者をアドバイザー(ゲストスピーカー)として招聘(2名)した。 ゲストスピーカー：NPO法人もふっこひだ理事長 袈裟丸 聡美氏 長野県社会福祉協議会企画グループ 佐藤尚治氏

	<p>(2) アンケート調査 実施方法：郵送による依頼、回答は電子媒体の調査票を活用 調査対象：①国診協加盟施設（悉皆）789 施設 ②人口1万人以下の市町村の地域包括支援センター（抽出）529 市町村 調査内容：ペットに関する諸問題（衛生上の問題、動物虐待、近隣住民との関係、入院等長期不在時の飼育、飼育者死亡時の処遇など）について事例の有無や対応例 等</p> <p>(3) ヒアリング調査 実施方法：現地訪問またはオンラインによる実施 調査対象：①静岡県・浜松市国民健康保険佐久間病院 ②岐阜県・郡上市、県北西部地域医療センター国保白鳥病院 ③長野県・佐久市立国保浅間総合病院 ④京都府・京丹後市立久美浜病院 ⑤北海道・新得町地域包括支援センター 調査内容：アンケート調査で明らかになった好事例について、関係機関へのヒアリングを行い運用面などの具体的な取り組みについて情報を収集した。</p> <p>(4) 研究報告（結果のフィードバック） ①研究成果報告書は、国診協ホームページへ掲載 ②研究報告は、アンケート対象自治体及び施設等に、「結果概要」と「パンフレット」を配布し、成果報告とする。概要版には国診協ホームページへつながる QR コードを付し、報告書を閲覧、パンフレットをダウンロードして活用できるようにした。</p>
研究チーム設置（名称）	在宅療養者におけるペットに関する諸問題とその対応方法についての調査研究チーム
研究代表者	田辺大起（国診協調査研究委員会委員／鳥取県・日南町国民健康保険日南病院リハビリテーション科長）
委員構成・会議開催数	共同研究者（8名） 会議数（チーム会議5回、調整会議1回）
調査協力機関	国診協事務局
成果物	報告書（100冊）・概要（1,500部）・パンフレット（1,500部）
その他	※研究報告は、アンケート対象施設等に、「概要版」と「パンフレット」を配布する。報告書は、国診協ホームページへ掲載

8 表彰

(1) 地域包括ケアシステム推進功績者・国診協事業推進功績者表彰

地域包括ケアシステム推進功績者69名（医師・歯科医師35名、事務長5名、コメディカル29名）、及び国診協事業推進者4名（医師・歯科医師3名、コメディカル1名）を表彰した。

(2) 全国国地域医療学会優秀研究表彰

最優秀1点（演題名：予防接種を受ける子どもへの説明に関する保護者の認識と子どもの対処行動の関連性～構造化観察法を用いて～ 元岡山県・高梁市国民健康保険成羽病院

看護師 藤井 杏安子、及び優秀5点を表彰した。

9 国診協都道府県協議会等に対する支援

- (1) 都道府県協議会振興費の交付
- (2) 都道府県協議会等開催の国保地域医療学会等に対する助成
- (3) ブロック協議会会議開催に対する助成

10 広報・情報提供の推進

- (1) 「地域医療」誌発行 第62巻第1号～第62巻第4号
- (2) 「地域医療」特別号（第64回全国学会[岩手県]）

11 医師確保対策事業

自治体病院・診療所医師求人求職支援センターの運営支援

12 国診協 会長・副会長等の関係省庁・団体等における活動

(1) 副会長の分担

海保副会長／総務企画委員会、地域医療・学術委員会(4部会含む)、歯科保健委員会
 大原副会長／調査研究委員会、施設経営委員会
 中村副会長／広報情報委員会、診療所委員会

(2) 押淵顧問（前会長）

会長アドバイザー（会長が必要と思われる際にアドバイスを行う。）

(3) 厚労省、関連団体等の担当

職 名	役員名
<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省 今後の医師養成の在り方と地域医療に関する検討会委員 ・厚生労働省 独立行政法人評価に関する有識者会議地域医療機能推進WG ・一般社団法人「日本地域医療学会」（初代）理事長 ・NPO法人卒後臨床研修評価機構 ・地域医療を守る病院協議会 	<p>会長 小野 剛</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・日本在宅ケアアライアンス会議（在宅医療助成 勇美記念財団） ・地域医療を守る病院協議会 	<p>副会長 海保 隆</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・日本専門医機構（総合診療専門医制度構築関連）総合診療専門医検討委員会委員・総合診療在り方検討WG部会委員 ・独立行政法人福祉医療機構助成事業評価委員 ・一般社団法人「日本地域医療学会」副理事長 同学会「専門医制度委員会」委員長 ・全国自治体病院協議会理事(国診協代表) ・地域医療を守る病院協議会 	<p>副会長 大原昌樹</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人「日本地域医療学会」理事 同学会「専門医制度委員会」委員 ・地域医療を守る病院協議会 	<p>副会長 中村伸一</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人「日本地域医療学会」理事 	<p>参与 野村英樹</p>